

平成30年度九州職業能力開発大学校入校式が 4月3日に、北九州国際会議場で行なわれました。

平成30年度入校式が、来賓の方々、多くの保護者の方々の列席のもと、厳かに執り行われました。今年度は、専門課程104名、応用課程99名の学生が入校されました。

式の中で、岡田学校長が、「**ものづくりの技術は、資源やエネルギーのないわが国にとっては、国を支える基盤技術・産業となるものです。誇りをもって、それぞれ2年間の課程の勉学を進めてください**」と励ましの言葉を贈られました。そして、入校生代表が「**専門知識と実技の習得に努め、自らの人格の向上に努め、大専校生活を楽しみつつ充実した素晴らしいものにするを誓います**」と宣誓しました。また、学生のひとりには、「**日本で活躍できるエンジニアになりたい**」と静かに篤い想いを語っていました。



福岡県 労働局
井ノ口利幸 副課長



岡田学校長告辞



来賓のみなさま



入校認定



入校生・保護者のみなさま



担任先生の紹介



入校生宣誓（応用・専門代表）

入校生たちは、実践技術者として必要な能力を身につけるとともに”ものづくり”を通して、社会技術者を目指します。みなさまの応援、よろしく願いいたします。